

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援おとのは		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和8年2月16日		令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8.3.25		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童に手厚い人員配置を行っていること。(児発管1名、保育士3名、児童指導員4名、児童指導員等1名、支援員5名、看護師1名が職員として携わり、日々6名～8名程度の職員で子どもたちの伴走支援を行っている。)	・児童には、職員の呼び方を名前で呼んでもらい、児童が安心して過ごせる居場所を提供できるように工夫している。	
2	・放課後、児童が楽しみに通っていることを児童や保護者、相談支援専門員等からフィードバックをいただいていること。	・学生ボランティアや学生アルバイト、地域のボランティアや、地域行事への参加など積極的に地域交流できる機会を提案している。	・児童が地域のためにできることへの活動に発展すること。(EX:認知症サポーター養成講座を子どもたちが受講したので、高齢者への声かけ見守り、訪問活動や生活支援などのボランティア活動など)
3	・祝日に家族交流を含めた行事を提案していること。	・兄弟支援を含めた家族が参加できる行事を企画し、それぞれの家族も一緒に楽しめる行事を意識して企画をしている。	・気軽に話せる家族会への発展すること。(当事者が主体的に取り組めるように支援)

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用児童が定員に達すると居場所が狭く感じる。	・子どもたちの居場所として、十分な環境が提案することが難しくなっていること。	・パーティションなどを上手く活用し個別に集中できる環境を提案すること。
2	・第三者評価を取り入れていないこと。	・事業所内で評価しているだけなので、客観的に見る目が乏しい。	・公正中立な立場から評価をいただき、より良い事業所運営に活かしていきたい。
3			

公表

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 令和8年1月26日

公表日 2026年3月13日

利用児童数 8人 (諸事情により回答不能2人)

回収数 6人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1			・児童館や公園へよく連れて行って くれるので、たくさん運動でき 楽しいようです。	・屋外活動や小グループ活動 を取り入れ、こどもの活動 等のスペース確保を試みて います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6					・常時7名程度の職員を配置 し手厚い支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかり やすく構造化された環境にな っていると思いますか。また、 事業所の設備等は、障害特性 に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切に なされていると思いますか。	5	1				・適宜、個々のこどもの状態 に応じて視覚的な情報提供 や体に合ったテーブル・イス の提供、建具や蛇口等のちょ っとした改修を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よ く過ごせる環境になっていま すか。また、こども達の活動 に合わせた空間になっていま すか。	6					・こどもたちが気持ちよく安 心して過ごせる空間となるよ う日々清掃と安全点検、環境 整備を行っています。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し 、こどもの特性等に応じた専 門性のある支援が受けられて いると思いますか。	5			1		・積極的に各種研修に参加し 、職員の資質向上に取り組ん でいます。
	6 事業所が公表している支援 プログラムは、事業所の提供 する支援内容と合っていると 思いますか。	5			1		・5領域(日常)、家族支援 (送迎時・祭日行事)、地域 支援・地域連携(地域行事の 参加やボランティアの受け入 れ等)を意識し提供していま す。
	7 こどものことを十分理解し 、こどもと保護者のニーズや 課題が客観的に分析された上 で、児童発達支援計画(個別 支援計画)が作成されていま すか。	6					・サービス担当者会議、モニ タリング評価を重ねこども一 人ひとりの状態に合った個 別支援計画の作成を心がけま す。
	8 児童発達支援計画には、児童 発達支援ガイドラインの「児 童発達支援の提供すべき支援 」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容 が設定されていると思います か。	6					・児童発達支援ガイドライン を手引きとして使用していま す。
	9 児童発達支援計画に沿った 支援が行われていると思いま すか。	6					・日々の記録に個別支援計 画の取り組み状況を示してい ます。
	10 事業所の活動プログラムが 固定化されないよう工夫され ていると思いますか。	6					・季節や天候、その日の個 々のこどもの状況や意向等を 踏まえながら、より良い活 動プログラムとなるよう工夫 しています。
	11 保育所や認定こども園、 幼稚園等との交流や、その他 地域で他のこどもと活動する 機会がありますか。	6					・児童センターや図書館の お話し会、地域活動支援セ ンター1型、パラスポーツセ ンター、地域の伝統行事や スポーツレクリエーション等 に参加し、地域の児童と交 流する機会を提案していま す。
保護 者へ の説 明等	12 事業所を利用する際に、 運営規程、支援プログラム、 利用者負担等について丁寧な 説明がありましたか。	6					・契約時に説明をしています。
	13 「児童発達支援計画」を示 しながら、支援内容の説明が なされましたか。	6					・時間割の目安や遊びのメ ニューと期待される成果を説 明しています。
	14 事業所では、家族に対し て家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)や家 族等も参加できる研修会や情 報提供の機会等が行われてい ますか。	6					・祝日の企画の際、親子参 加として30分程度の勉強会 や懇談会を行っています。
	15 日頃からこどもの状況を 保護者と伝え合い、こどもの 健康や発達の状況について 共通理解ができていると思 いますか。	5			1		・クラウドシステムにより 日ごろの活動の様子を伝え、 送迎時の引き渡し時も情報 共有を意識しています。
	16 定期的に、面談や子育て に関する助言等の支援が行わ れていますか。	5			1		・親子行事や送迎時などに 伺った話から必要に応じ適 宜個別の相談支援を行って います。
	17 事業所の職員から共感 的に支援をされていると思 いますか。	6					・個々のこども・ご家族の 思いに寄り添って、より良 い支援ができるよう心がけ ています。
	18 父母の会の活動の支援や 、保護者会等の開催等によ り、保護者同士の交流の機 会が設けられるなど、家族 への支援がされているか。ま た、きょうだい向けのイベ ントの開催等により、きょう だい同士の交流の機会が設 けられるなど、きょうだい への支援がされていますか。	6					・祝日行事の際、親子参 加として30分程度の勉強会 や懇談会を行っています。ま た、きょうだい参加の受け 入れを行い交流の機会を提 供しています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					・契約時に苦情相談窓口の情報を提供しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					・子どもの発達段階に応じた声かけや困りごとを相談しやすい関係づくりに配慮している。保護者にはクラウドシステムを導入し、日々の活動の様子やご家族からのメッセージを受け対応できるように環境を整えています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6					・行事の開催通知やホームページのブログにて活動の様子を掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					・職員に周知し、適切に取り扱っています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					・昨年度に引き続き十分に周知ができていない面があるので、わかりやすく情報提供を行えるよう工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6					・安全計画に沿って、毎月のシェイクアウト訓練と年4回の避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			1		・安全計画に沿って危険ヶ所の点検や、外出時に、児童に危険ヶ所の周知や約束事を確認し事故防止に努めています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1	・傷ができた際、写真を送って連絡をくれたので、状況が詳しく把握できました。	・適宜、状況に応じてご家族に連絡や送迎時に経過報告等を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					・安心して過ごせる居場所となるよう職員一同心がけています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6					・子どもとご家族から楽しみに通っている声を寄せていただいています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					・基本的なことを押さえ、積極的に研修に参加し実践できるよう職員教育に力を入れていきます。

公表	児童発達支援 事業所における自己評価結果
----	----------------------

事業所名	児童発達支援 おとのは				公表日	2026年3月13日
チェック項目		はい	いいえ	空欄	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	明治33年1月4日	1	・屋外活動や小グループ活動を取り入れ、こどもの活動等のスペース確保を試みている。	・静養室以外にも静かに過ごせるスペースがあると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・常時7名程度の職員を配置し手厚い支援を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・適宜、個々のこどもの状態に応じて視覚的な情報提供や体に合ったテーブル・イスの提供、建具や蛇口等の改修を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・日々清掃と環境整備を行い、静かにゆったりと過ごす部屋、みんなが集う部屋、身体を動かして遊ぶ部屋を分けて活動している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・適宜、宿題や創作活動など集中して取り組みたい児童に適した部屋の提案をしている。(パーティションの活用も含む)	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	行事や避難訓練など、振り返り評価を行いPDCAサイクルに取り組んでいる。	・昨年度に引き続き、現場に即した安全計画やマニュアルのブラッシュアップしていく必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・ホームページにて公開している。	・昨年度に引き続き、結果を踏まえて今後の方針を検討したり職員で共有をおこなう機会を意識的につくっていく必要がある。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	・職員との個別面談を実施している。(定期開催は年2回、その他適宜)	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		・安全計画始め各種計画の遂行が安定してきたのちに第三者評価を取り入れて行く予定である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	・積極的に外部研修受講をしている。 ・職員が均等に受講できるように配慮している。	・昨年度に引き続き、研修受講後の伝達研修の充実を図り、職員が共通の理解で支援に当たれるようにする必要がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	・ホームページにて公開している。	・こどもたちが見ても分かるような視覚的に見て分かる支援プログラムの作成を検討していく必要がある。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	・5領域(日常)家族支援(送迎時・祭日行事)地域支援・地域連携(地域行事の参加やボランティアの受け入れ等)を意識し提供している。	・こどもの発達状況に応じた意思の確認等工夫しながらアセスメントに取り組む必要がある。(こどもにも分かりやすい表現を用いた計画を作成していくことも必要である。)
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	・出来る限り支援に関わる職員の声を聴き、支援会議でも共有を行っている。	・個別支援計画を作成するにあたり、子どもの発達状況に応じた意思決定の支援を強化する必要がある。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・クラウドシステムで、日々の記録の際に計画書が表示され、チェックしている。	・個別の具体的な支援方針に沿って、取り組めていないことがあるので、取り組めるように工夫する必要がある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・5領域のアセスメントシートを活用しフォーマル、インフォーマルも含め行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・ガイドラインを活用し、5領域の支援を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・チームで検討し実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・こどもの関心ごとや意見を聞いて予定を立てている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・日々個別と小集団のメニューを提案し関心ごとから取り組めるように伴走支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	・必要時に打ち合わせをしている。なお、打ち合わせの代わりにアプリやクラウドシステムを活用した情報共有を行っている。	・児発管から適宜情報発信し、チーム連携の取り組みをさらに強化する必要がある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・支援終了時に課題等がある時は、話し合い方針を決めている。または、振り返りの代わりにアプリやクラウドシステムを活用して共有している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		・クラウドシステムを活用し日々の様子を記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		・個別支援計画の取り組みについて、クラウドシステムを活用し計画について特記が必要なことは記録を残している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		・こども家庭支援センターや基幹相談支援センター、医療機関の里ビル等の立会や、保育施設等との支援会議に参加し連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		・計画相談を中心とした支援者会議で関係機関を招集している。なお、保育施設・家庭と情報共有する連絡帳を活用し情報共有と相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0		・引継ぎ資料を作成し、引継ぎ会議に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	0	・各種研修情報の発信を受け、適宜助言支援を受けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0		・図書館のお話会や児童館を利用し地域の子どもと交流できる機会を提供している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		・児童の様子をクラウドシステムに記載し保護者と情報共有している。また、送迎時や親子行事の際に児童の家庭の様子を伺い共通理解に努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		・祝日の行事は加速参加を募り、保護者に30分程度の勉強会や懇談会を実施している。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		利用契約時に全員に説明を行い、時間が無いときは、ポイントを絞って説明し、場面に応じて適宜補足等を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		日々の活動で児童の関心ごとを把握し、得意な事、望ましい行動は、支援員等が言語化して児童に伝え、プラン作りに反映している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0		面談、または送迎時に計画の内容説明を行い保護者から同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		送迎時の相談やメールにて情報発信があった際には適宜話し合いの場を設け、必要に応じて関係機関にも呼びかけ支援者会議を開催している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		祝日営業日に家族交流（兄弟交流）ができるようにバスハイクやスポーツレクリエーションなど企画し交流の機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		・必要に応じ、家族支援会議や関係者会議を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		・クラウドシステムやホームページから保護者に発信すること、チラシを作成し児童にイベントや訓練等のお知らせを掲示している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		・鍵のついた戸棚に保管している。 ・職員に秘密保護について説明し同意を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		・絵カードや単語レベルの情報で予定や意向を確認し見通しを立てた行動ができるように工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		・地域の精神ケアを招いてボランティアや民生委員等を受け入れ行事を開催、地域の加活動に参加したり活発に交流をしている。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		・安全計画に沿って各種マニュアルを整備し職員に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		・BCPを作成し安全計画に沿って計画的に実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		・アセスメントを実施して職員間で共有し、事故防止のための職員の共有スペースに掲示している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		・家族からの聞き取りを行い事故防止のため職員の共有スペースに掲示している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		・安全計画を作成し、計画に沿って点検や訓練、情報発信等を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		・安全計画を掲示し、ホームページにも掲載し周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		・ヒヤリハット様式を用意し、事が起きたときは記入して、事故防止や再発防止に努めている。	・個別記録に記載し、ヒヤリハット様式に載せきれていないこともあるので、もれなく記載し事例を積み上げていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		・安全計画に沿って身体拘束・虐待防止の教育や説明、講習会に参加して防止に努めている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0		・身体拘束・虐待防止の教育や説明を従事者に行っている。必要に応じて個別支援計画に掲載している。		